



# とねっと協議会だより VOL.16

【参加施設数】106（中核施設11、病院・診療所90、検査施設5） 【参加住民数】30,501人（3月31日現在）

発行日／平成30年4月23日 発行／埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局  
電話番号／0480(63)0003 FAX／0480(63)0033 URL／http://www.saitama-tonet.jp

平成30年3月20日(火)に第17回臨時総会を開催しました。総会では3項目の報告とともに、次の6項目の議題について協議が行われました。

## 1 平成30年度事業計画及び収支予算案を議決

新「とねっと」の運営にあたり、新たに数値目標を設定した平成30年度の事業計画と収支予算が議決されました。【予算額：14,728千円】

《主な目標値：各年度末現在》

- ①参加医療機関等数(歯科、調剤薬局、検査施設含む) 239施設(H29:106施設)
- ②参加住民・患者(利用)者数 35,500人(H29:30,500人)
- ③医療機関でのアクセス数
  - ・病院・診療所→中核病院 360件
  - ・中核病院→病院・診療所 60件

## 2 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会規程の一部改正案を議決

- ・羽生総合病院長と東埼玉病院長を協議会委員に選任
- ・事務局支援市町に行田市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町を追加

## 3 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の事務局費に係る費用負担に関する規程の一部改正案を議決

4月1日から県立小児医療センターの参加を受け、同センターの参加負担金を定めました。(50,000円/年)

## 4 埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会のシステム事業費に係る費用負担に関する規程案を議決

歯科医療機関及び調剤薬局の参加を受け、参加負担金の額等を定めました。(歯科・薬局ともに10,000円/年)

## 5 歯科医師会及び薬剤師会の作業部会への委員としての参画案を議決

作業部会委員の構成員に歯科医師会、薬剤師会の各代表者が加わりました。

### ○作業部会委員

#### 【歯科医師会】

馬橋歯科医院長	石川 誠一 氏
よしの歯科医院長	吉野 勝久 氏
松井歯科医院長	松井 毅 氏
みつば歯科エムズタウン幸手医院長	丸山 真司 氏

#### 【薬剤師会】

大和薬局	渡辺 英治 氏
ファーコス薬局つばめ	藤倉 朋子 氏
CMSさくら草薬局	北川 雅彦 氏
わかば薬局本町店	関 美枝子 氏
クオール薬局幸手中央店	関谷 陽子 氏

## 6 システム更新前後の機能改善の内容等(案)について

「とねっと」は、平成30年4月から、住民や医療機関の皆様にとって「診療に役立つ有益なシステム」、「使いやすいシステム」へ改善します。

### ◆◆◆平成30年度からのシステム更新の改善項目◆◆◆

#### ① I T 診療報酬加算への設備対応

- ・通信回線や医療情報の暗号化、電子的な送受の記録
- ・SS-MIX仕様からSS-MIX 2仕様へ
- ・診療情報提供書等の文書作成時にHPKI（医師の認証）の設定

#### ②病院・診療所では自院のノートパソコン又はタブレット化で対応（端末の小型化）

#### ③中核病院と病院・診療所との医療情報の双方向化

- ・病院・診療所からは、連携している調剤薬局を通じての情報自動連携

#### ④中核病院での複数の診療科での情報共有

- ・院内での電子カルテ等を活用した医療情報の共有

#### ⑤在宅医療介護連携システム（MCS）との連結（MCSの単独での使用可）

- ・「とねっと」と「MCS」は、健康記録上で相互参照が可能
- ・新たに訪問歯科医・薬局（薬剤師）、看護師、ケアマネなどの参加により情報共有が可能（多職種連携）

#### ⑥参加医療機関の増

- ・中核病院は、県立小児医療センターなど13医療機関を目標
- ・病院・診療所は、120医療機関を目標
- ・新たに歯科医療機関、調剤薬局の参加（歯科・薬局ともに50施設を目標）

#### ⑦臨床検査施設の増

- ・臨床検査施設を通じての情報自動連携
- ・参加臨床検査施設数は、6施設を目標

#### ⑧カラーでシンプルな画面構成

- ・中核病院、診療所の医療機関からの画面の見やすさ

#### ⑨画面アクセスのスピードアップ化

- ・参照スピードは原則3秒以内

#### ⑩ I C カード運用による利便性の向上

- ・かかりつけ医カード I D を I C チップに登録し、医療機関における「紐づけ」の操作負担の軽減や救急搬送時の迅速な参照

#### ⑪健康記録情報の入出力 ほか

- ・かかりつけ医の情報共有などに加え、住民自身が利用する外部ヘルスケアサービスからの情報の自動入出力

※裏面に、新「とねっと」ABCDEFを掲載

# 「とねっと」が生まれ変わりました

## 新とねっと

システム更新に伴う改善点の **A B C D E F**

### **A** : Access の改善

自院のパソコン端末など診察デスクから Access 可能

### **B** : Benefit の改善

診療報酬加算に対応しており、Benefit (利益) アップ

### **C** : Card の改善

とねっと Card が IC 化され、紐付けが簡単に

### **D** : Data の双方向性

調剤 data を調剤薬局から収集

### **E** : Efficient 効果的な情報共有

MCS との連結で、医療・介護の efficient な情報共有化

### **F** : Field の拡大

歯科医療機関や調剤薬局も参加